

CICONIA

取扱説明書

TY-1706 クラシカルレコードプレーヤー

はじめに

この度はクラシカルレコードプレーヤーTY-1706をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

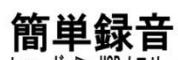
- ※ この取扱説明書をよくお読みの上正しくご使用下さい。
- ※ 本取扱説明書には保証書が付属していますので大切に保管して下さい。
- ※ 付属品をお確かめ下さい。

◆ 目次

安全上のご注意 及び ご使用にあたってのお願い	2-4
主な特長及び付属品	4
各部名称	5
ご使用になる前に	6
電源を操作する	7
レコード針の交換	7
レコードを聴く	8
ブルートゥースの操作	9
USBメモリーの再生と操作	10
外部機器との接続	11
レコードをUSBに録音	12
製品仕様	13
メモ	14-15
保証書	16



* Bluetooth とそのロゴマークは、
Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。



レコード→USBメモリー



USB



安全上のご注意

■ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。

■お読みになった後もいつでも見れるところに必ず保管して下さい。

絵表示について

この取り扱い説明書には、使用者が製品を安全にお使いいただき、理解し易い様に色々な絵表示を使用しています。誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。いずれも重要な内容ですので必ず守って下さい。

絵表示の例

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性及び、物的損傷の発生が想定される内容を示しています。
	分解禁止	記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	電源プラグ抜き	記号は、使用者の行為を指示強制したりする内容であることを告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグを電源コンセントから抜く)が描かれています。

!**警告**

	交流100V以外の電圧では使用しないで下さい。 * 火災・感電の原因となります。		本機に水をかけたり、濡らしたり、また本機の上に水などの入った容器や小さな金属物をおかないで下さい。 * 火災・感電の原因となります。
	本機を落としたりして破損した場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。 * そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に修理を依頼下さい。ご自身での修理は危険ですから、絶対にお止め下さい。特にお子様のいるご家庭ではご注意下さい。		電源コードやプラグを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないで下さい。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。 * コードやプラグの修理は販売店にご相談下さい。
	雷が鳴っている時は、絶対にAC電源プラグに触れないで下さい。 * 感電の原因となります。		ぬれた手で電源プラグを抜いたり差したりしないで下さい。 * 感電の原因となります。
	絶対に分解したり・修理・改造は行わないで下さい。(キャビネットも外さないで下さい。) * 火災・感電の原因となります。 販売店で点検・整備・修理をご依頼下さい。		本機の内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、落としたりしないで下さい。 * 火災・感電の原因となります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意下さい。

⚠ 警告



注意

変な臭いや音がしたり、煙が出たらすぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。

- * そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理を依頼下さい。ご自身での修理は危険ですから、絶対におやめ下さい。



注意

本機の中に水や異物が入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源コンセントから本体の電源プラグを抜いて下さい。

- * そのまま使用すると、火災、感電の原因となりますので、販売店にご相談下さい。



指示

電源プラグのほこりや汚れを定期的に乾いた布でふき取って下さい。

- * プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁劣化となり、火災の原因となります。

注意



注意

電源プラグは根元まで確実に差し込んで下さい。

- * 差込が不完全な場合、感電や発熱による火災の原因になります。
- * 抜く時は、コードを引っ張らずに、必ず電源プラグ本体を持って抜いて下さい。



禁止

本機に布をかぶせたりしないで下さい。

- * 内部に熱がこもり、火災の原因となりますので、ご注意下さい。
- * テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないで下さい。
- * 本機を押入れなどの風通しの悪い狭いところで使用しないで下さい。



注意

効果的な放熱の為に、他の機器との間は少し離して置いて下さい

- * 間隔が不十分ですと、火災・故障の原因となります。ラック等に設置する時は、本機の前後左右天面から15cm以上のすきまを空けて下さい。



禁止

直射日光が当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かないで下さい。

- * キャビネットや部品の故障の原因となったり、内部の温度が上昇し、火災の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く

本機を移動する時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、外部接続コードをはずして下さい。

- * 感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全の為、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いて下さい。

- * 感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く

長時間使わないときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて下さい。

- * 火災の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

各機器との接続のときは、必ず電源スイッチを切り電源プラグを抜いて、取扱説明書に従って接続して下さい。

- * それぞれの機器の取扱説明書をよく読み指定のコードを使用して接続して下さい。



禁止

振動する場所やぐらつく台の上、傾いた所等、不安定な場所に置かないで下さい。

- * 倒れたり、落ちたりして怪我の原因となります。



禁止

湿気や埃の多い場所には置かないで下さい。

- * 火災や感電の原因となります。

ご使用にあたってのお願い

■必ずお守り下さい。

左右及び天面、後面の間隔は15cm程度空け、通気の良いところに置いて下さい。
熱がこもる状態で使用されると、保護回路が働き音声レベルが下がったり、内部部品が破損する
恐れがあり危険です。

⚠ 定期的に内部の掃除が必要です。販売店にご相談下さい。

本機の内部にほこりがたまつたまま長時間使用しますと、火災や故障の原因になることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨時期前に行うと、より効果的です。 掃除費用については販売店に
ご相談下さい。

- 本機は民生用の音楽などを再生する目的で設計されております。
従って信号発生器や音楽以外のデータが記録されたUSBメモリー等を使用しましと、
本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーをいためる原因となる事があります。
- オーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。 本機は民生用のオーディオ
インターフェースに接続する目的で設計されています。 業務用オーディオインターフェース機器との
接続は本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因となる事があります。
- ブラウン管式のテレビ等にスピーカーを近づけますと、映像がスピーカーとテレビ等の内部にある
永久磁石の影響でゆがんだり、画面と色がにじむ場合があります。 十分に間隔を取る様にして
下さい。
- 本製品の再生中に製品本体の近くで携帯電話などをご利用になるとその電波により雑音が
発生する場合があります。 雜音が発生する場合は携帯電話などを機器から離してご利用下さい。
故障ではありません。

主な特長

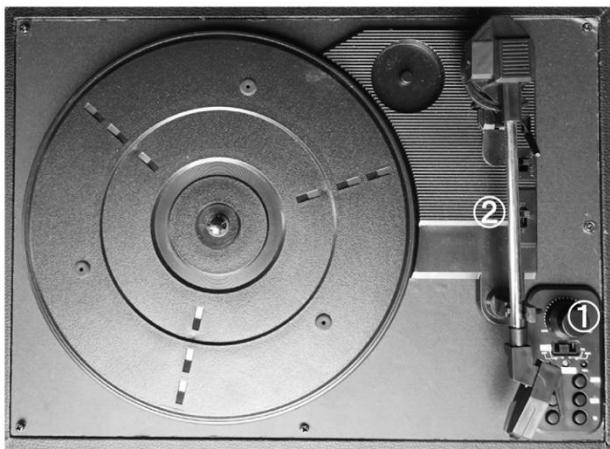
- 持ち運びに便利なトランクケース式
- 3スピード（33⅓、45、78回転）切り替え、オートストップ機構付レコードプレーヤー
- ブルートゥース接続し、外部スピーカーとして使用可能
- レコードからUSBへの簡単録音（MP3形式音楽にダイレクト変換／録音機能）
- 外部機器接続用AUX-IN/OUT端子
- USBインターフェース（MP3音楽ファイル再生）

付属品

- AC/DCアダプター（本機専用。他の機器には使用できません）。 ■取扱説明書（保証書付）
- EPアダプター

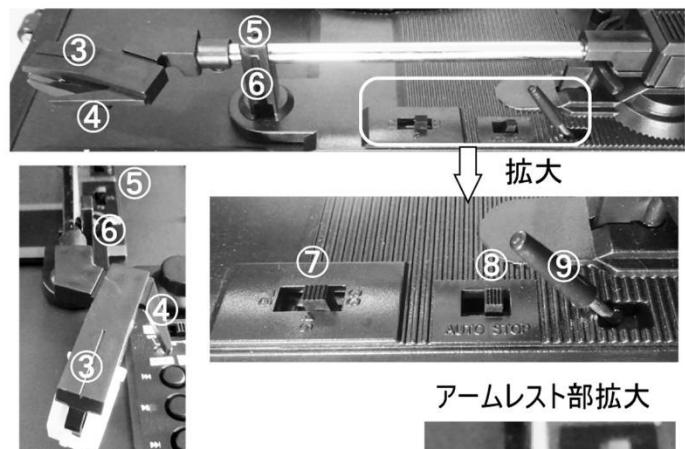
各部の名称

<正面>

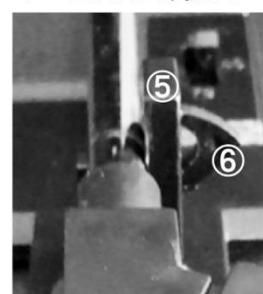


- | | |
|---------------|------------------|
| ① 操作パネル | ⑦ 回転速度切り替え |
| ② トーンアーム | ⑧ オートストップ入/切スイッチ |
| ③ カートリッジ | ⑨ アームリフター |
| ④ カートリッジ指掛け | |
| ⑤ アームレスト | |
| ⑥ トーンアーム固定レバー | |

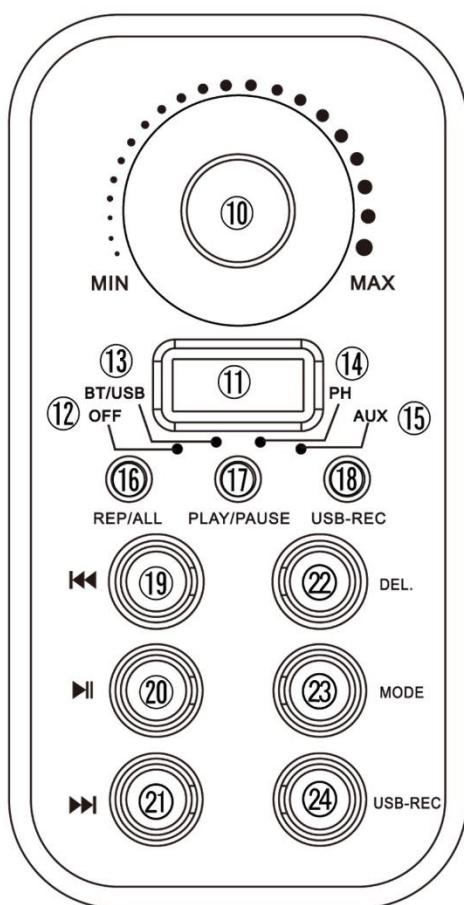
<各部詳細>



アームレスト部拡大



<操作パネル>



<背面端子>



- | | |
|---------------------------|--------------------|
| ⑩ 音量レベルコントロール | ㉕ USB端子 |
| ⑪ 音源モード切り替えスイッチ | ㉖ イヤーフォン端子 |
| ⑫ 電源入/切スイッチ | ㉗ AUX-OUT(オーディオ出力) |
| ⑬ ブルートゥース/USBモード | ㉘ AUX-IN(オーディオ入力) |
| ⑭ レコードモード | ㉙ ACアダプター接続端子 |
| ⑮ AUX-INモード | |
| ⑯ 繰り返し再生モード表示(USB再生時) | |
| ⑰ 再生/一時停止表示(USB再生時) | |
| ⑱ USB録音表示灯 | |
| ⑲ * 前曲に移動 | |
| ⑳ * 再生開始/一時停止 | |
| ㉑ * 次曲に移動 | |
| ㉒ 削除キー | |
| ㉓ 繰り返し再生モード切り替え(USB再生時のみ) | |
| ㉔ USB録音キー | |
- (*マーク付: ブルートゥース/USB再生時のみ)

ご使用になる前に

■設置

本体を水平に且つ安定しする場所に設置して下さい。

* 水平に設置しない場合、ターンテーブルの回転に影響を受ける場合があります。

* 外部からの振動の影響を受けない個所に設置下さい。レコード再生中に外部からの僅かな振動の影響で、レコード針がレコードの溝を飛び越してしまう事があります。

■レコードについて

* ひびやそりのあるレコードは絶対に使用しない。使用しますと針の極端な摩耗や破壊の原因になります。

* スクラッチ等の通常と違う再生方法を絶対にしない。本機はその様な再生には対応していません。

* 直射日光や高温多湿の場所に置かない。。。反りや変形の原因になります。

* レコードを持つ時は、ラベル部あるいは、外周部分のみで行う。レコード溝には絶対に触らない。。。埃や指紋は音のひずみとなります。

* レコードの手入れ：・レコード専用のクリーナーとクリーナー液を使用します。

・レコードクリーナーは音溝に沿って円を描く様に拭き取ります。

■本機で使用可能のUSBメモリーについて

* 本機で再生可能ファイル形式はMP3形式(拡張子が.mp3)のみとなります。

* USBハブには対応しておりません。

* 容量の大きいUSBメモリーを接続したときは、読み込みに多少時間がかかることがあります。

* 本機の「DEL」でUSBメモリー内に記録されたファイルを、一回押す毎に一曲づつ消去します。

* 「DEL」キーでの「不本意に消去」され、ファイルが消滅するのを防ぐ為、予めファイルのバックアップを取っておく事をお勧めします。

* DRM(著作権保護されたファイル)には対応していません。

■ブルートゥースについて

* 本機採用のブルートゥース機器は無線LAN機器(IEEE802.11b/g/n)と同じ同じ周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに干渉して通信速度低下や接続不能になる事があります。この場合は、出来るだけ離して(10m程度)使用します。

* 全てのブルートゥース機器との接続を保証するものではありません。又、条件によっては接続に時間がかかる場合があります。

* 同時接続台数と記憶可能ペアリング台数はそれぞれ1台のみとなります。

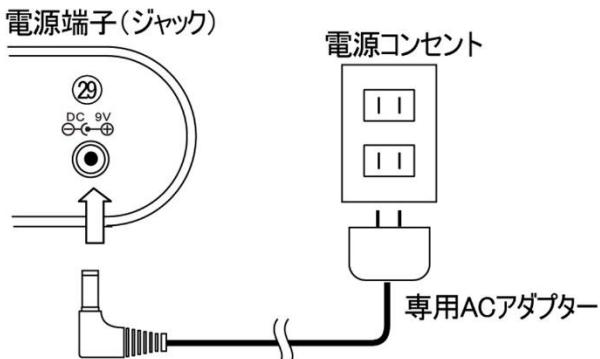
* 通信距離は、約10m程度ですが、周囲の環境により、変わることがあります。又、お使いの接続する機器によっては接続できない場合もあります。

* 本機は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明を受けておりますので、改造したりなどすると電波法に抵触しますので、絶対に改造を行わない様にお願いします。

電源を操作する

本体と付属のACアダプターの接続

1. 本機⑪音源モード切り替えスイッチを「OFF」の位置の設定します。
2. 付属のACアダプターのプラグを本体 ⑫電源端子に、片側のACアダプター本体を100V電源コンセントにそれぞれ差し込みます。



警告

- ※ 水のかかる場所で使用する時はACアダプターを使用しない。
- ※ ACアダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続する。
 - ・交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因になります。
- ※ ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない。感電の原因となることがあります。
- ・付属のACアダプター以外は使用しない。
 - 付属以外のものを使用すると、火災・故障の原因となります。
- ・通電中、ACアダプターの表面温度を高くなる場合がありますが、故障ではありません。
- ・持ち運ぶときは、ACアダプターを抜き、温度が下がってから行ってください。

レコード針の交換

レコード針の耐久時間は使用されるレコードの状態にも影響されますが、約20-30時間程度です。
再生時音割れやノイズが出てきた場合はレコード針を新品に交換下さい。

レコード針の外し方

1. 白いカートリッジカバーを正面手前にひっぱり、カートリッジからはずします。



2. 正面に向いているカートリッジの赤い部分(レコード針)頭部とカートリッジ本体(黒色)との境目に小さなマイナスドライバーを入れて、下に押し下げます。

①ここに小さな
マイナスドライバー差し込み
下に押し下げる。



レコード針の取り付け方

新しい針を取り付ける際は、取りはずしと逆の順番で、針の後ろ部分をカートリッジに向け、下側からカートリッジに差し込み押し上げて取り付ける。



下側から差し込む

レコードを聴く

レコードの再生

※ご使用前にターンテーブルを時計方向に10回程手で回し、プレーリーからのベルトずれや、よじれ等を念の為修正します。

1. 本機⑪音源モード切り替えスイッチを「PH」の位置の設定します。
2. 再生するレコードの回転数に、「⑦回転速度切り替えスイッチ」を合わせます。
3. 「⑧オートストップ入/切スイッチ」を「ON」の位置に設定します。（この機能の動作に関し以下参照下さい。）
4. レコードをターンテーブル載せます。（ドーナツ盤の時は付属のEPアダプターを先にスピンドルにはめておきます。）
*ターンテーブルに載せるのは、必ず1枚のみにします。
5. 「⑥トーンアーム固定レバー」を右側に倒します。
6. 「⑨アームリフター」を本体奥側に倒します。（トーンアームが浮いた状態になります。）
7. 「④カートリッジ指掛け」を指にかけて、再生したい音楽溝の上に移動させます。
8. 「⑨アームリフター」を本体手前側に倒します。（トーンアームが下がり、レコード盤に当り音楽再生を始めます。）
9. 再生が終わると、⑪ 音源モード切り替えスイッチを「OFF」にして電源を切り、ACアダプターを電源コンセントから抜きます。

■オートストップ機能について

※「⑧オートストップ入/切スイッチ」を「ON」に設定した場合

最後の曲の再生が終了すると、自動でターンテーブルの回転がストップします。ストップした後は、手動で、トーンアームレストに戻します。

ご注意とお願い

レコード盤によっては、最後の曲の再生が終了する前にオートストップする場合がありますので、その場合は、このスイッチを切りにして再生して下さい。しかし、この最後の再生が終わっても「オートストップOFF」ですので、自動で停止はしませんのでご注意ください。

※「⑧オートストップ入/切スイッチ」を「OFF」に設定した場合

最終の曲の再生が終わっても、自動停止はしませんので、「OFF」モードで再生する場合は、予めご注意ください。又、アームレストに戻しても、ターンテーブルは回転していますので、「⑧オートストップ入/切スイッチ」を「ON」にして、停止させます。

ブルートゥース接続と操作

1. ⑪ 音源モード切り替えスイッチを「BT/USB」に設定します。
2. ⑯ 再生/一時停止表示(青色)が点滅し、接続検索モードになります。
3. ブルートゥース搭載の外部機器の「ブルートゥース」を「入り」に設定すると、
外部機器の検索を開始 ⇒ 本機の製品名「TY-1706」が外部機器に表示 ⇒ 外部機器を「接続許可」を
「入り」にします。
4. 本機との接続が完了すると、
本機から短い接続音が聞こえ ⇒ ⑯ 再生/一時停止表示(青色)が点灯 ⇒ 接続完了を知らせます。
5. 接続後は外部機器で音楽再生を開始しますと、本機のスピーカーで再生音を楽しめます。
(接続外部機器と本機の⑩音量レベルコントロール両方で好みの音量に調整します。)
6. 接続を終了するには、⑪ 音源モード切り替えスイッチを「OFF」に設定するか、
接続した外部機器のブルートゥースを「切り」にしますと、本機との接続が切れ、切断を意味する短い音が
本機から聞こえます。

■接続後の操作

本機の ⑯ 前曲に移動 ⑰ 再生開始/一時停止 ⑱ 次曲に移動キーで外部機器の音楽再生の
操作が可能です。

■ご注意とお願い

- * ⑮ AUX-IN(オーディオ入力)と⑯ USB再生が優先再生
外部機器接続用端子「⑮ AUX-IN(オーディオ入力)」に接続ケーブルやUSBメモリーが差し込まれていると、
こちらの接続が優先されブルートゥース接続音はきこえませんので、注意して下さい。
- * 既に、他の外部機器に接続されたままの状態ですと、新たに接続する外部機器には、接続できませんので、
その場合は、他の外部機器とのブルートゥース接続を切断願います。
- * ブルートゥース接続可能距離は 5m 程度までですので、それ以上離れるとノイズが出たり音が途切れる事があります。

USBメモリーの再生と操作

★重要なお願い★

1. 挿入後、動作がおかしくなったり、フリーズした場合は、⑪ 音源モード切り替えスイッチを「OFF」に設定し、ACアダプターを抜き、暫くしたあとで、再度ACアダプターを接続して使用ください。
2. それでも、おかしい場合は、そのUSBメモリーの内容・状態を調べて下さい。

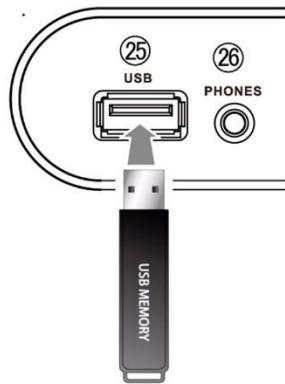
■再生可能ファイルはMP3形式のみ * ISO9660に準拠したMP3方式で圧縮された音楽ファイル。
* 記録されたときの音声コーデックの条件により、音声が途切れる時があります。



記録状態により音とびや再生できない場合があります。

USBメモリーの装着

1. 本体後面にある、②₅ USBポートにUSBメモリーを確実に最後まで挿入します。
2. 取り外す際には本機の「⑪音源モード切り替えスイッチ」を「OFF」の位置にするか、他のモードに切り替えた後に外して下さい。



再生と操作

1. ⑪ 音源モード切り替えスイッチを「BT/USB」モードに設定します。
* この時 ⑯ 再生/一時停止表示が点灯します。
2. 本体後面にある、②₅ USBポートにUSBメモリーを確実に最後まで挿入します。
3. 插入しますと ⑯ 再生/一時停止表示が点滅し、自動再生を開始します。
* 自動再生は前回再生を中止した時点から再開します。
4. 再生開始後、⑯ 前曲に移動 ⑯ 再生開始/一時停止 ⑯ 次曲に移動キーで再生操作が可能です。
5. ⑯ 繰り返し再生モード切り替えキーで再生モードを切り替える事が可能です。
この操作を選択すると、⑯ 繰り返し再生モード表示(黄色)が点滅、或いは点灯します。
一曲繰り返し再生…点滅
全曲繰り返し再生…点灯
通常の一曲再生のみ…点滅・点灯もしない
6. 記録された全てのファイルの再生が終了すると、自動停止し、⑯ 再生/一時停止表示が点灯します。

■ご注意とお願い

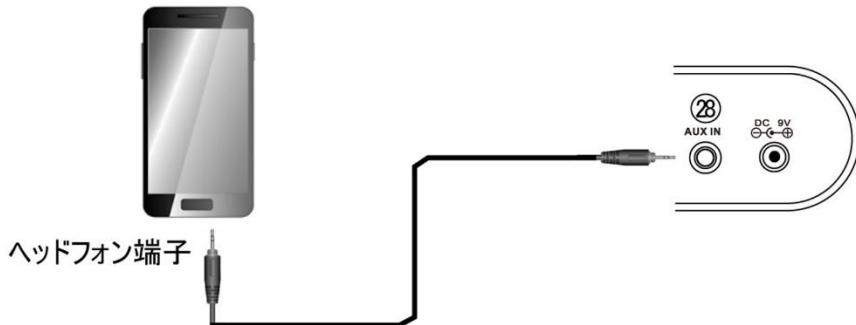
- * 本機のUSBポートは充電用ではありませんので、他外部機器への充電は避けて下さい。
仮に充電可能に見える場合でも、本機の電源等に悪影響、或いは破壊につながる可能性がありますので、絶対に避けて下さい。

外部機器との接続

本機には、「AUX-IN」及び「AUX-OUT」端子が搭載されていますので、外部機器と接続し、本機を外付けスピーカーとして使用したり、又本機の音を外部機器で聞く事が可能です。

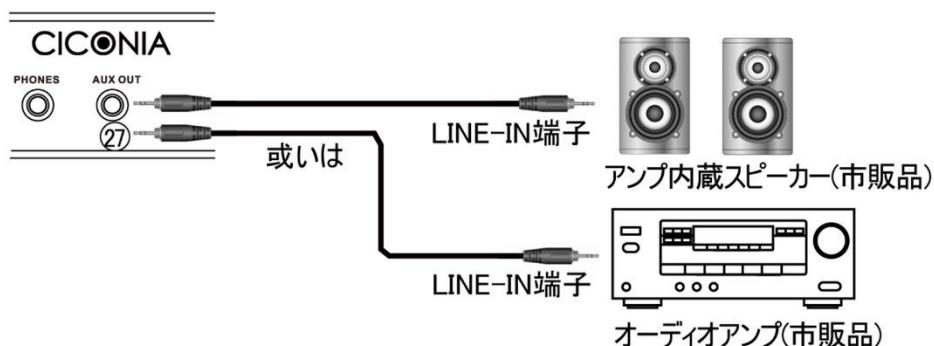
外付けスピーカーとして使用

1. 本機の「⑪音源モード切り替えスイッチ」を「AUX」モードに設定します。
2. 市販のφ3.5mmミニプラグオーディオケーブルを、本機の ⑧AUX-IN端子に差し込み、片方を接続したい外部機器のAUX-OUT(LINE-OUT)或いはヘッドフォン端子に接続します。
3. 外部機器を操作します。(音量は外部機器と本機の音量コントロールで設定します)。



本機の音を外部機器で聞く

1. 本機の「⑪音源モード切り替えスイッチ」を「AUX」モードに設定します。
2. 市販のφ3.5mmミニプラグオーディオケーブルを、本機の ⑦AUX-OUT端子に差し込み、片方を接続したい外部機器のAUX-IN(LINE-IN)に接続します。
3. 外部機器を操作します。(音量は外部機器と本機の音量コントロールで設定します)。



レコードをUSBメモリーに録音

レコードプレーヤーの音をUSBメモリーに録音する事が出来ます。

USBに録音

- ⑪ 音源モード切り替えスイッチを「PH」に設定します。
- 本機後面にある②USBポートにUSBメモリーを挿入します。
- 本書7ページに記載の方法で、レコードの再生準備をします。
- レコードが再生開始する直前(無音状態の時)に④USB録音キーを押します。
*この時⑮USB録音表示が赤く点灯し、録音状態を有する事を知らせます。
- 録音を終了するには、同じく④USB録音キーを押します。
- 録音されたファイルは、以下の様にUSBメモリー内に表示されます。
*録音フォーマットは、ビットレート128Kbs、サンプリング周波数32KHzで録音されます。



- 一曲毎に、上記の 4~5を繰り返して、USBに録音します。

■ご注意とお願い

- * 使用するUSBメモリーには十分な空きがある事を確認して下さい。
- * 録音は、希望の音楽一曲ごとに、開始と終了時、それぞれに④USB録音キーを押して下さい。
- * 本機には、自動的に曲を切り分けたりする機能はありません。音の切れ目に関係なく録音開始から終了までを1つのファイルとして録音されます。
(1曲毎の個別データにはなりませんので、ご注意ください。)
- * ⑮USB録音表示灯が点滅している間は、絶対にUSBメモリーを取り外さないで下さい。
取り外しますと、録音データが壊れたり、USBメモリーが故障する場合があります。
- * 本機ではフォルダ名やファイル名の入力はできません。

USB内のデータを削除

- 本体後面にある、②USBポートにUSBメモリーを確実に最後まで挿入します。
- 一曲ずつ再生し、削除希望の曲が再生開始すると、③削除キーを長押しします。
長押しの間に、⑮USB録音表示灯が短時間点灯すれば、削除出来た事になります。

■ご注意とお願い

- * 「不本意な消去」で、ファイルが消滅するのを防ぐ為、予めファイルのバックアップを取っておく事をお勧めします。使用するUSBメモリーには十分な空きがある事を確認して下さい。

製品仕様

アンプ部	定格出力	1.0Wx2
	再生周波数帯域	100Hz-15KHz
レコードプレイヤー部	モーター	DCモーター
	ドライブ方式	ベルトドライブ
	ターンテーブルスピード	33 1/3、45、78回転
	カートリッジ	セラミック圧電方式
	レコード針	サファイヤレコード針
USB部	再生可能フォーマット	MP3音楽再生(拡張子mp3)
	録音形式	MP3形式録音(PHONOモードのみ)
	録音サンプリング周波数	32KHz
	録音ビットレート	128Kbps
ブルートゥース部	バージョン	Ver.3.0
	対応プロファイル	A2DP
	同時接続台数	1台
基本仕様	端子	入力: AUX-IN(3.5mm径)ミニプラグ ACアダプター接続端子 USBポート
		出力 AUX-OUT(3.5mm径)ミニプラグ ヘッドフォン端子
	電源	入力: AC100V.50/60Hz 出力: DC9V.0.8A
	寸法(mm)	360(幅) X 265(奥行き) X 115(高さ)
	重量	約2.8Kg (本体+ACアダプター)
付属品	<ul style="list-style-type: none"> ■取扱説明書 ■EPIレコードアダプター ■ACアダプター(本機専用。他の機器には使用できません)。 	

* 上記の内容は、改良のため予告なく変更する場合があります。 あらかじめご了承お願いします。